

「知的」体力に自信あり



理工学部長

たぐち あずま
田口 東

ご卒業おめでとうございます。皆さんは理工学部、理工学研究科において何を果たされましたか？第一は、専門分野の知識でしょう。科学技術の進歩は早いので、それが古くなってしまうことがあります。しかし、どのように勉強すれば必要な知識が得られるのかという方法論には興味期限はありませんし、どのような場面でも有効に使えたいと思います。

第二に、卒業論文、修士論文としてまとめた成果です。内容そのものはお蔵入りの運命にあるかもしれませんが。しかし、それをまとめ上げるプロセスで得られたものがあります。最初は、ほとんど手探りの状況の中で、問題らしきものを見つけたでしょう。他の研究者の取り組みを調べながら、自分で答えを知ることが出来る問題の形に作り、自ら考えた方法を試しながら、成果にたどり

着いたと思います。その途中には、ねばり強い試行錯誤の繰り返しと、潔い撤退と、ほんの数回の、しかし大変に嬉しい成功があったと思います。研究室での議論やアドバイスの、研究発表会における交流の中で研究を進めてきたことは、貴重な体験に違いありません。このような自主的な研究体験は、ここでしか得られない貴重な財産でありますし、それを経験しなかった人に対する大きな優位点となるでしょう。

このように理工学に基礎を置く、知的な体力が身についたということ、大きな自信を持っていただきたいと思います。そして、この知的体力は、研究分野が異なってももちろん通用する訳ですから、新しい問題、新しい分野に果敢に挑戦して、新しい技術、分野を開拓されることを大いに期待しています。